長崎医療センター
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS

専齋 SENSAI

2026 VOL.447

発行所
独立行政法人国立病院機構
長崎医療センター
〒856-8562
長崎県大村市久原2丁目1001-1
TEL 0957-52-3121
FAX 0957-54-0292



24時間体制の正確・迅速な検査で診療を支えるプロフェッショナル、臨床検査部門の皆さんです。

先端医療特集

プロフェッショナルを紹介します!!
Vol.8 野口 久美子

臨床検査科だより Vol.7

気になるあの人にフォーカス

外来診療担当医一覧

長與 專齋（1838年～1902年）

大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめて採用したのも專齋である。專齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。

先端医療特集

心筋生検のリスクなく心アミロイドーシスを診断

～「^{99m}Tcピロリン酸シンチグラフィ」による低侵襲診断が可能になりました～

循環器内科部長　石松 卓

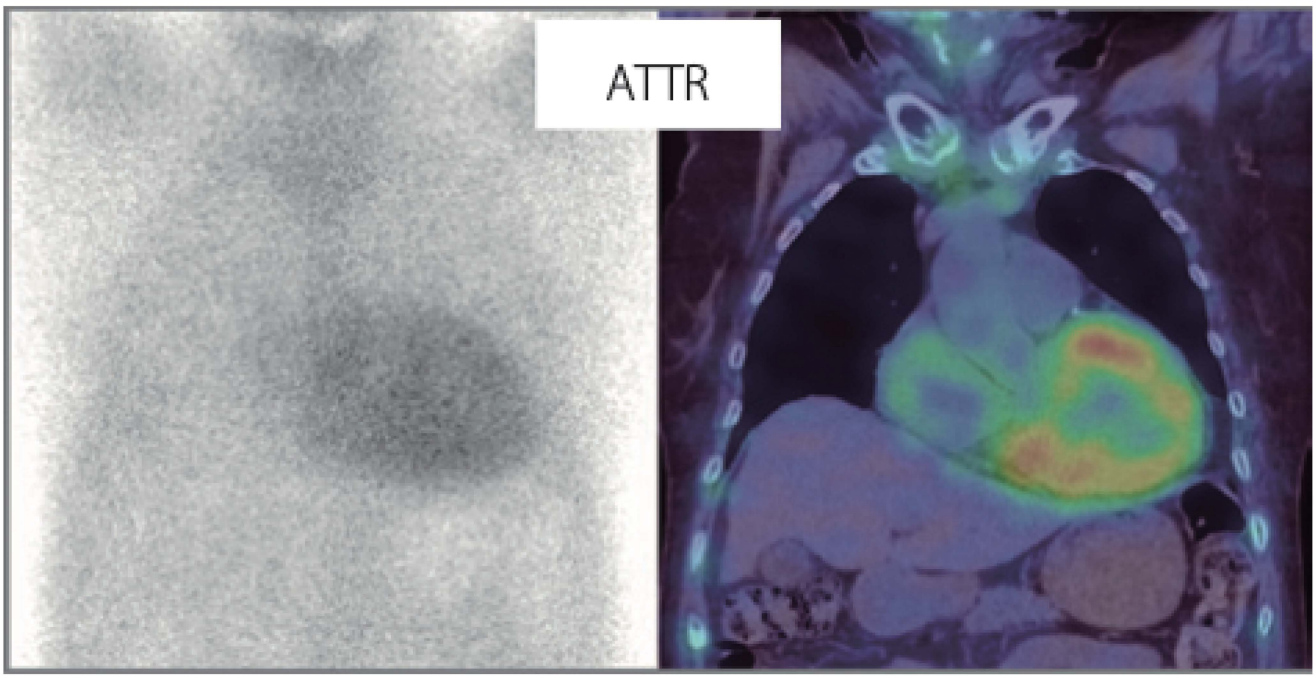


図1 心アミロイドーシスの^{99m}Tcピロリン酸シンチグラフィトランスサイレチン型心アミロイドーシスで心筋に有意な集積を認めます。
出典：日本循環器学会　2020年版　心アミロイドーシス診療ガイドライン

近年、原因不明の心筋肥大や拡張障害による心不全の背景としてトランスサイレチン型心アミロイドーシス（ATTR-CM）[旧病名：老人性全身性アミロイドーシス、家族性アミロイドニューロパチー]をはじめとする心アミロイドーシスが注目を集めています。かつては予後不良の希少疾患とされていましたが、現在は進行を抑える効果的な治療薬が登場しており、「早期発見・早期治療」が患者さんの予後を大きく左右する時代となっています。

しかし、従来の確定診断（Definite診断）には「心筋生検」が必要であり、心タンポナーデや不整脈といった侵襲的リスクから、心アミロイドーシス診断のハードルが高くなっていました。

現在、ATTR-CMの診断に対して骨シンチグラフィ（^{99m}Tcピロリン酸シンチグラフィ）が保険収載可能となり（cf.2020年10月26付け）、また、生検組織以外の骨シンチ、M蛋白の評価を組み合わせたProbable診断による治療薬の投与が可能となりました（cf.『アミロイドーシス診療ガイドライン2025』）。医療の現場は、患者さんにより負担の少ない方へとシフトしています（図1）。



当センターにおいても「^{99m}Tcピロリン酸シンチグラフィ」による、院内での診断体制を整え、疑い例の段階からのご紹介を広く受け付けております。地域連携室を通してご紹介いただければ、心筋シンチ等をスケジュールします。診断が確定後、治療薬（タファミジスなど）の適応がある場合は当センターで導入し、安定後は先生方との共同管理をお願いできればと考えております。

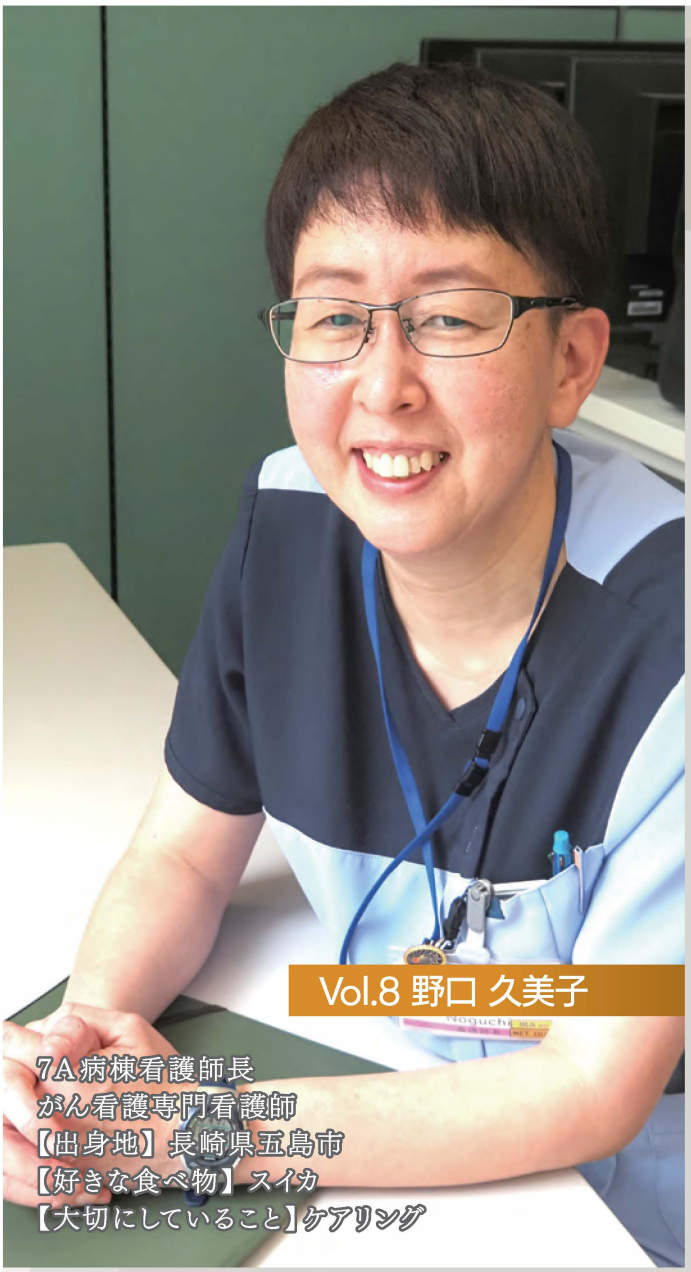
日々のご診療の中で、「もしかするとアミロイドーシスかも（cf.表1）」と思われる患者さんがいらっしゃいましたら、お気軽に当センターへご紹介ください。地域の先生方と連携して、患者さんの健康寿命延伸に貢献して参りたいと存じます。

(i)心エコー所見：
- 高血圧の程度に見合わない「著明な左室肥厚（12mm以上）」
- 心筋の輝度上昇（granular sparkling appearance）

(ii)心電図所見：
- 四肢誘導の「低電位差」
- 前胸部誘導の「異常Q波（前壁中隔梗塞類似所見）」

(iii)臨床徴候・既往：
- 高齢者の「駆出率が保たれた心不全（HFpEF）」
- 数年前に発症した「両側性の手根管症候群」の既往
- 脊柱管狭窄症や上腕二頭筋腱断裂の既往

表1　日常診療で「心アミロイドーシス」を疑うべきサイン



プロフェッショナル を紹介します!!

Vol.8 野口 久美子

7A病棟看護師長
がん看護専門看護師
【出身地】長崎県五島市
【好きな食べ物】スイカ
【大切にしていること】ケアリング



院内講義の様子です

現在の担当領域や病棟の特徴を教えてください。

現在は、7A病棟の看護師長として勤務しています。7A病棟は総合外科センターで、消化器外科、乳腺・内分泌外科の患者さんが入院しています。虫垂炎などの良性疾患で手術を受ける方もおられますが、胃癌、大腸癌、肝臓癌、膵臓癌、胆嚢癌、乳癌、甲状腺癌など悪性疾患で手術を受ける方が多くおられます。ほとんどの患者さんが、はじめてがんの診断を受け、不安な思いを抱えながら手術目的で入院されます。

7A病棟では、術後合併症を予防し、患者さんが順調に回復できることを目指しています。患者さんの不安な思いを傾聴しながらも、術後合併症予防を目指し、患者さんを励ましながら、持続点滴やドレーン留置されている時から看護師の介助で離床を積極的に進めていきます。理学療法士や栄養士などの多職種と協力し、術後の患者さんが安心・安全に治療を受け回復できるように支援しています。

がん看護専門看護師を志したきっかけは、何ですか？

副看護師長6年目の時に、スタッフの教育を行う中で「看護」をわかりやすく伝えることができず悩んでいました。今思うとただただ厳しい副師長だったのではないかと思います。

その悩みを友人に相談したところ、「看護を学び直してみたら」とアドバイスを受け、友人のすすめもあり高知県立大学大学院に進学しました。どうして高知県なのかと思われる方が多いかと思います。日本で最も古い看護系大学で、専門看護師制度、認



日本がん看護学会で座長を務めました

定看護師制度をつくられた先生が学長だったことも進学を決意した理由です。この大学院は、がん看護の領域だけではなく、精神看護、在宅看護、小児看護、家族看護の専門看護師コースと看護管理コースの学生が互いにディスカッションしながら学びます。このことは、自分の考え方が変わるほどの影響を受けました。他の領域のことを知ることも看護師としての成長につながると思います。

今後、仕事で伸ばしていきたい事はありますか？

がん患者さんは、治療を受ける病院、治療を受けるかどうか、家族にどのように話すのか、仕事を休むのか、治療をやめるのか、最期の療養の場をどこにするのかと様々なことを決めていきます。私たち看護師は、患者さんが今までどのようなことを大切に過ごしてきたのか、がんという命に関わる病気に罹りこれからをどのように生きていきたいと思っているのかを教えていただきながら、患者さんとご家族の意思決定を支えていくことが重要な役割と思います。当院では、臨床倫理の４分割表が導入されていますので、今後は、看護師がその４分割表を活用して「患者の最善」を多職種と検討できるような倫理カンファレンスの充実に取り組みたいと思います。患者さんには、医師・看護師・薬剤師・理学療法士・栄養士・医療ソーシャルワーカーなどたくさんの多職種が関わります。それぞれの専門職が患者の最善に向けて医療とケアを実践していきます。私は、看護師には、患者と家族の意向をふまえた上で、多職種間を調整する役割があると思っています。これからは、看護実践を通して、調整役割に取り組むことができる看護師を育成していきたいと考えています。

がん患者さんやご家族と向き合う際、どのような心構えで臨んでいますか？

がん患者さんとご家族は病院に来るまでにもたくさんのことを悩んできていますので、まずはお話を伺うことを大切に考えています。

患者さんが今までの生活でどのようなことを大切にしてこられたのか、その大切なことをこれからも継続できるために、私たちはどのようなサポートができるのかを考えていくことが大事と思います。

私は、看護師３０年の間にたくさんのがん患者さんに出会いました。がん治療が発展し、がんが治る方も増え、また治療を受けながら生活している方も増えています。退院後のがん患者さんは、治療と仕事の両立、妊娠、医療費など社会的な課題とも向き合っていきます。がんになる方はこれからも増えていきますので、がんになっても安心して暮らせる世の中ができるように、看護師も退院指導や、病棟と外来の連携、病院と地域の医療機関との連携を強化していきたいと思っています。

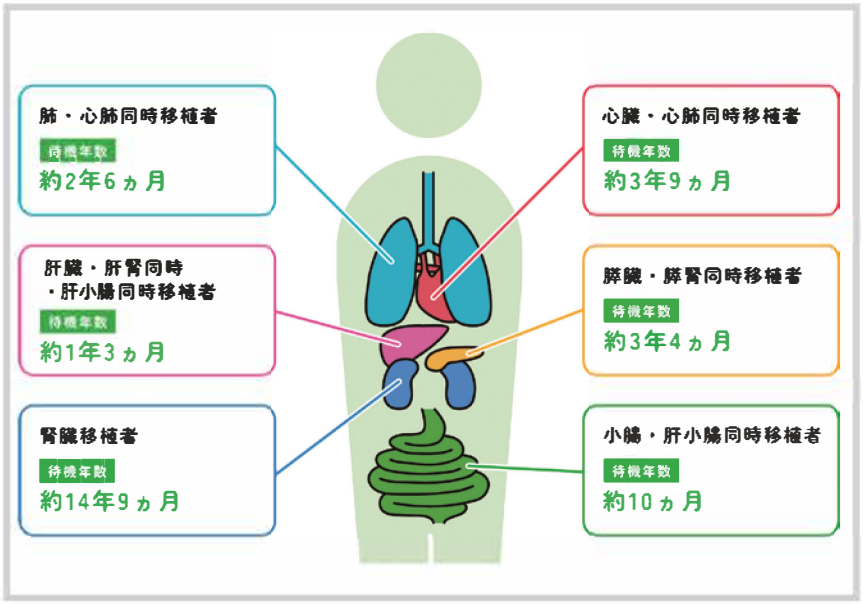

休みの日に親戚の畑仕事を手伝っています

臨床検査科だより Vol.7

臨床検査技師　栗原 博未

日本における移植医療は移植希望者に対してドナーが少ないという問題があります。特に希望者が多い腎臓に関しては待機年数は平均して約14年9カ月です。

そのため日本では脳死したドナーから腎臓をもらう献腎移植よりも、親族から腎臓を提供していただく生体腎移植が腎移植の9割近くを占めています。近年では免疫抑制剤の開発や術後管理の向上により拒絶反応を抑え、献腎移植・生体腎移植ともに腎臓の生着率は年々向上しています。



心臓・肺・肝臓・膵臓・小腸：1997年10月～2023年12月
腎臓：2002年1月10日～2023年12月
日本移植ネットワークホームページより

移植を受けた患者は、移植後も免疫抑制剤を飲み続け、適切に管理していくことが移植腎の機能を保つために大切です。そのため、定期的に血液検査や尿検査を行い、移植腎機能をチェックします。特に、移植後に移植された腎臓に対してHLA抗体（DSA）を産生し移植した腎臓の機能を損失することがあります。それを防ぐため、腎移植後はDSAの検査を年1回行うことが推奨され、2018年4月から保険収載されました。

当院は日本臓器移植ネットワークにおける長崎県のHLA検査施設であり、現在外注しているDSA検査を2026年8月院内検査開始を目指して検査体制を整備しているところです。

その他、移植後のフォローに関する血液検査、尿検査も当科で行っています。それぞれの検査に専門の知識を持った臨床検査技師が在籍しているため、お困りの際はお気軽にお問合せください。



新しいHLA検査装置が検査科に設置されました



気になるあの人にフォーカス

今回は公用車の運転をしている與田さんに話を伺います



◎ 普段、どんな仕事をしていますか？

普段は公用車に関する業務全般を行っています。運転業務がメインですが点検依頼や手入れ等も含め維持管理を行っています。現在、当院の公用車は全部で7台あり乗用車が2台（エルグランド、プリウス）とハイエースが5台（DMAT車、原子力災害用車、救急1号車·2号車·3号車）あります。車庫は ドクターヘリのヘリポート下にありますが、ヘリコプターが離着陸する際のダウンウォッシュの風で車庫に枯葉等が舞い込んですごいことになることも（笑）。乗用車の運転では院長先生の送迎をはじめ看護（副）部長さん、来賓者、医師、看護師（師長）の方々の送迎など。その他、警察署へ拾得物の届出、官公署へ書類送達、物品購入など運転が絡む仕事は全般的に出向します。救急車の運転では患者さんの搬送に従事させて頂いておりますが、患者さんやご家族の方々の涙を何度も見ました。そのたびに思います。普通と思っている健康なことが「ありがたいなぁ」と。搬送の時はいつも患者さんに不安を与えない様に気を配り必要に応じて声掛けたりしますが、いつも適度に緊張しています。稀にですが臓器移植が行われた場合にも搬送に携わります。家族に見送られながら臓器を手にした医師を救急車に乗せ緊急走行しますが、ご家族の前ではやはり自分の素行には気を配ります。安全第一を常に心がけていますが、これから同様安全運転と患者さんに安心感を与えられる様努めて参ります。「こんな人がいてくれたらなぁ」そんな人になれたらいいなと思います。

◎ 個人的な趣味は何ですか？

基本、体を動かすことが好きなんすが、釣りに自転車、ギターに読書など。習い事では少林寺拳法、剣道、書道、珠算など。中高の部活は卓球部（高校で九州大会）、その他ソフトボール、バドミントン、ウィンドサーフィン、スケボー等々。バイクは750cc大型含め6台乗り継ぎました。今はギターにはまっており〝そのうち人前で弾き語りができたらいいな〟と小さな夢（楽しみ）を持っております。

外来診療担当医一覧表

受付時間　8時30分～11時30分（ただし急患はその限りではありません。）

（★は新患対応）令和8年7月1日現在

		月	火	水	木	金
総合診療科		当番制	当番制	当番制	当番制	当番制
肝臓内科		★長岡　進矢 ★末廣　智之 ★嶋倉　茜 山﨑　一美	★佐伯　哲 ★末廣　智之 ★釘山　有希	★小森　敦正 ★山﨑　一美 佐伯　哲	★長岡　進矢 ★本吉　康英 ★小森　敦正	★本吉　康英 ★釘山　有希
消化管内科		★西山　仁	★後藤　高介 ★峯　彩子	午前　★西山　仁 午後　★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患 専門外来）		★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患　専門外来） ★今村　祥子
内分泌・代謝内科		★野崎　彩 ★松本　圭祐 徳満　純一	★徳満　純一 野崎　彩 松本　圭祐	★野崎　彩 徳満　純一	★徳満　純一 ★松本　圭祐 野崎　彩	
腎臓内科		★岡　哲 井上　大		★髙尾　れいら 岡　哲	井上　大	★井上　大 髙尾　れいら
循環器内科	午前	★小出　俊朗	★百岳　龍平	★森　彩	★松尾　崇史 石松　卓（不整脈）	★深江　貴芸
	午後	★島　千波	百岳　龍平	於久　幸治	★石松　卓（不整脈）	
呼吸器内科		★原　敦子 池田　喬哉	★川嵜　光一	近藤　晃 ★池田　喬哉	★乗富　大地	★近藤　晃 原　敦子
血液内科		午前　小林　裕児 午後　★渡辺　春香	★今泉　芳孝	吉田　真一郎	午前　今泉　芳孝 午後　★小林　裕児	午前　吉田　真一郎 午後　★桐野　祐子
脳神経内科（神経内科）		★佐藤　和明 天野　貴徳　（午前） 鬼塚　啓一郎　（午後）	★徳田　昌紘 ★鬼塚　啓一郎 岩永　洋	★山下　魁理 徳田　昌紘		★天野　貴徳 岩永　洋
膠原病・リウマチ内科		★岡田　覚丈		★岩永　希	★岩永　希	午後　★岡田　覚丈
小児科	午前	★本田　涼子（神経） ★桑原　義典（心臓・一般） ★西口　奈菜子（神経・一般） ★尾上　祐大（一般） 武田　敬子（新生児・乳児） 黒岩　かほり（新生児・乳児）	★本村　秀樹（心臓） ★石橋　洋子（心臓・一般） ★池田　英史（心臓・一般） 田中　茂樹（神経） ★泊　由里子（一般） ★西口　奈菜子（神経）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★本田　涼子（神経） ★和泉　啓（内分泌） ★桑原　義典（心臓・一般） ★泊　由里子（一般） 食物アレルギー外来	★西口　亮（新生児・乳児） ★石橋　洋子（心臓・一般） ★石川　太郎（一般） ★佐藤　美悠（神経・一般）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★池田　英史（心臓・一般） ★石川　太郎（一般） 本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経）
	午後	発達外来	★本村　秀樹（心臓）	一ヶ月健診 ★大学医・当番医（内分泌）	発達外来	シナジス外来
皮膚科	①外来紹介・新患	★石川　博士	★中牟田　瑠璃	★石川　博士 午後　★宿輪　哲生	★中牟田　瑠璃	★濱辺　真奈
	②旧患	中牟田　瑠璃	石川　博士	濱辺　真奈	石川　博士	中牟田　瑠璃
	③入院中の紹介	濱辺　真奈	濱辺　真奈	中牟田　瑠璃	濱辺　真奈	石川　博士
外科		★黒木　保（肝・胆・膵） 山下　万平 （胆・膵・一般外科） ★小坂　太一郎（小児外科） （長崎大学病院、第1・3午後）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） ★福井　彩恵子（一般外科） ★南　恵樹（乳腺・内分泌外科） ★森田　道（乳腺・内分泌外科）	★釘山　統太（肝）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） 南　恵樹（乳腺・内分泌外科） ★森田　道（乳腺・内分泌外科）	★竹下　浩明 （大腸・肛門） ★大石　海道（大腸・肛門） 藤岡　ひかる （肝・胆・膵・消化器）
呼吸器外科				★田川　努 ★松本　理宗		
心臓血管外科				★有吉　毅子男 ★谷川　陽彦		★有吉　毅子男 ★谷川　陽彦
脳神経外科		★小野　智憲 ★原口　渉	★案田　岳夫	★定方　英作	午後　原口　渉	★小野　智憲 ★吉村　正太
整形外科・リハビリテーション科		★山口　雄一	★宮本　俊之（第1・3・5） （再 第2・4） ★梅木　雅史（第2・4） （再 第1・3・5）	★前田　純一郎 ★津田　宗一郎	★糸瀬　賢	
形成外科		★信國　里沙 ★巖水　舞（第3・5） ★熊本　万由子（第2）	★熊本　万由子（第3・5） ★巖水　舞（第2・4）	★古賀　一史（第1・2・4・5）	★信國　里沙（第1・3・4・5） ★熊本　万由子（第1・3・4・5）	★古賀　一史（第1・2・4・5） ★巖水　舞
産婦人科		★古賀　恵 ★福田　雅史 プレコンセプション外来 ワクチン外来	★安日　一郎 ★山下　洋 胎児スクリーニング外来	★菅　幸恵 ★杉見　創 産褥1ヶ月検診（午後）	★五十川　智司 ★山口　純子 子宮鏡外来 ワクチン外来	★福田　雅史 ★小川　真幸 レジデント外来 NIPT外来
泌尿器科		★大仁田　亨 ★鹿子木　桂	錦戸　雅春 松屋　福蔵	★上田　康史	★鹿子木　桂	★大仁田　亨 ★武藤　大祐
移植後フォローアップ外来		錦戸　雅春	錦戸　雅春	錦戸　雅春		大仁田　亨
耳鼻咽喉科		★田中　藤信 ★吉田　晴郎 ★神田　悠志	★吉田　晴郎	★田中　藤信 ★前田　耕太郎 ★神田　悠志	★塚本　愛麗子	★田中　藤信 ★前田　耕太郎
眼科		★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★田島　遥香 ★大槻　早紀 ★古田　彩子	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★田島　遥香 ★大槻　早紀 ★古田　彩子	午後　中尾　志郎	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★田島　遥香 ★大槻　早紀 ★古田　彩子	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★田島　遥香 ★大槻　早紀 ★古田　彩子
放射線科（治療）		本多　功一 武田　達哉	★本多　功一 ★武田　達哉 中村　太祐（午前のみ）	本多　功一 武田　達哉 中村　太祐（午後のみ）	本多　功一 武田　達哉	★本多　功一 ★武田　達哉

※紹介状なしで受診を希望される患者さんにつきましては、診察料とは別に、選定療養費として7,700円をご負担いただきます。
ただし、紹介状がある場合は選定療養費（7,700円）の負担はありません。「かかりつけ医」等からの紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。

理　念

高い水準の知識と技術を培い
さわやかな笑顔と真心で
患者さん一人一人の人格を尊重し
高度医療の提供をめざす

長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実に行い、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 安全で質の高い医療を提供する
- すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 救急医療の最後の砦となる
- 臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する
- 地域の医療機関、行政と密接に連携する

外来担当医一覧の最新版は
こちらからご覧ください

長崎医療センター NEWS
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS
https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/
VOL.446